

遊休農地発生防止のための保全管理

中間農業地域

福岡県岡垣町における活動組織の例

- ○○○○○は、福岡県北部の平野部において活動している。農業者の高齢化や担い手不足により、地域内に遊休農地が点在している。
- 点在する遊休農地の解消・防止のため、遊休農地の発生状況把握や草刈り等を実施し、現在は、H26年度に91aあった遊休農地はすべて再生した。
- 本活動へ多くの農業者が参加し、地域で遊休農地発生防止に取り組む意識が向上した。

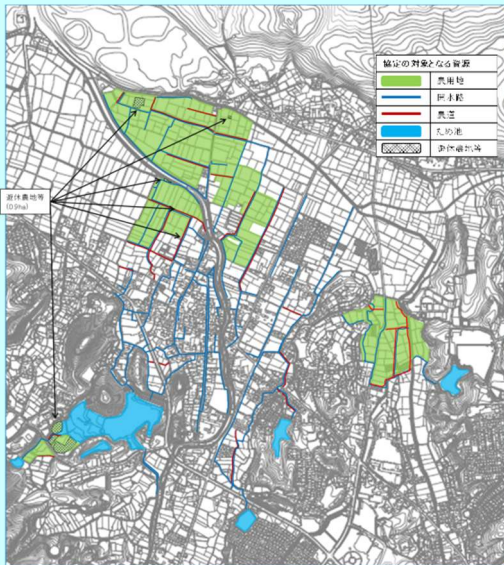
【地区概要】

- ・取組面積 37.52ha
(田35.46ha、畑2.06ha)
- ・資源量 開水路17.4km
農道 5.1km、
ため池5箇所
- ・主な構成員 農業者
- ・活動内容

農地維持支払

活動開始前の状況や課題

- 農業者の高齢化や担い手不足により、地域内に遊休農地が点在して発生。
- 遊休農地に繁茂した雑草がイノシシ等有害鳥獣の棲み処となり、近隣農地に被害が発生。



取組内容

- H26年度から遊休農地の発生状況の把握、解消の取組を開始。
- 遊休農地の解消・保全管理のため、発生場所の現地調査や土地所有者の情報収集、草刈等を実施。
- 地域の農地を保全するための担い手の確保に努める。



【草刈実施後】

取組の効果

【遊休農地の解消面積】

H26年度:91a ⇒ H27年度:0a



【遊休農地の活用状況】

- ・作付面積 (H27年度)
水田32a、畑59a

【遊休農地発生防止の活動状況】

- ・活動は、多くの農業者が参加し、地域で遊休農地発生防止に取り組む意識が向上。



【解消された遊休農地(麦を作付)】